

開講科目名 / Course	人のこころの働き
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First
開講区分 / semester offered	1 学期 / First
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	1
主担当教員 / Main Instructor	吉村 匠平
担当教員名 / Instructor	吉村 匠平
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	講義
授業回数	8
科目の目的と概要	人が外の世界を認識する働き、外の世界との相互作用を通して自分自身や他者の行動パターンが変化していくメカニズムを学ぶ。可能な範囲で、受講者自身が簡単な実験の被験者となる機会を提供する。講義は、時間外課題に取り組むために必要な情報を収集する「時間、空間」として位置づけられる。参加した、楽しかったで終わらないように、授業中にメモを残すなど、各自が時間外課題を意識しながら、工夫して講義に参加することが求められる。講義内容をまとめるのは、あくまでも受講者の役割となる。この点をしっかりと認識して、講義に臨むことが必要となる。
到達目標	1. 講義中に理解した内容を、パラグラフライティングの手法に沿って簡潔に要約できる。 2. 自分で答えを出し、それに基づき、周囲の学習者と課題の解決に向けて話し合う。 3. 講義内容に基づき、日常生活の諸事象を解釈し、他の学習者が理解できるように表現できる。 4. 自分自身の学習の進捗状況を把握したうえで、適切な学習行動をとる。
DPとの対応	2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、6.探求心と創造力
授業計画	01. 外の世界の認識(1):「みる」とはどのような活動なのか? 02. 外の世界の認識(2):「きく」とはどのような活動なのか? 03. 外の世界の認識(3):記憶の仕組み、はたらきについて 04. 外の世界の認識(4):非合理的な問題解決者としてのヒト 05. 学習の基礎理論(1):古典的(レスポンド)条件付けの基本原理 06. 学習の基礎理論(2):古典的(レスポンド)条件付けによる諸現象の理解 07. 学習の基礎理論(3):道具的(オペラント)条件付けの基本原理(自発的行動) 08. 学習の基礎理論(4):道具的(オペラント)条件付け(強化と弱化的基本原理)
その他の授業の工夫	・ 毎回、授業開始時に自分でくじを引き、座席を決める。 ・ 隣に座った人と協同して学習課題に取り組み、話し合う。 ・ 挙手による発言行動、掲示板への投稿が強化されるよう、学習環境を調整する。 ・ 毎時、講義前、終了後に取り組む時間外課題を課す。 ・ 各自の学習状況が確認できるように、累積平常得点を確認できるようにする。
時間外学修	・ 毎時、講義終了後に、講義内容の要約、コメント(日常の振り返り)をメインとした事後課題(ショートレポート)を課す(12h)。 ・ 事前に視聴する動画(5分前後)を指定し、講義冒頭で理解状況を確認するための小テストを実施するので準備をすること(6h)。 ・ 授業後に、受講者が質問をあげたり、意見を述べ、学生が相互に交流できる掲示板を提供する(4h)。
評価方法と評価割合	期末の試験は実施しない。事前課題の小テスト(4点/回)、講義内容の要約課題(4点/回)、授業を受けてのコメント(2点/回)、授業での発表、投稿、時間外学習課題の得点を8回分集計して評価する。評価の基準は初回講義時に説明資料を配布する。講義を欠席した場合、その回に課された全ての課題を提出することができない。単位認定方法について、初回にプリントを配布し説明するので、出席すること。8回目の講義終了時点で、合計得点が合格ラインに達しなかった場合(のみ)、再試験を実施する。
テキスト	特になし。遠隔での講義の場合は、講義動画を配信する。対面での講義の場合は、毎時、ハンドアウトを配布する。ハンドアウトに加えて、自分が作成したレポート、webに投稿された他学生のレポートを参照することで、講義内容の理解が深まるように自分なりの講義ポートフォリオを作成することを推奨する。
参考書	基礎から学ぶ認知心理学-- 人間の認識の不思議 (有斐閣ストゥディア)
履修する上で必要な要件	
その他	世の中に出ると、色々な人と係るスキルが求められます。付き合う相手を選び好みできるのは、学生の間までです。今から、少しずつで良いので慣れていきましょう。幸い、人には環境に順化するという素晴らしい能力があります。みんなともいることができるし、一人でもいることができる。どちらも愉しめる。こんな感じです。 他者からの評価は、評価のごく一部です。一部を全体(本質)として捉えないように、大学に在る間に少しずつ感性を編み変えていきましょう。
教員の実務経験	有・無 有

	内容	吉村匠平：公認心理士、学校心理士
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	学校で頻繁に観察される事象を用いて、課題を構成したり、例示を行う。例えば、不登校を、弱化のメカニズムで説明するなど。学校での当たり前が、心理学の知見から解釈すると必ずしも合理的とはいえない例なども併せて紹介する。	